

LC1A 天井吊り下げ金具 取扱説明書

-----37 ~ 70V 型サイズのフラットテレビで、重量 79kg 以下に適用 -----

このたびは、LC1A の天井吊り下げ金具をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。


販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。


1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



LC1A を天井から吊り下げるときは、天井の構造が、荷重に耐えられる事を調査して下さい。
強度の弱い天井に取り付けると落下してけがの原因になりますので、フラットテレビの重量の4倍の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

LC1A 天井吊り下げ金具は、37～70V 型の総重量 79kg 以下のプラズマ及び液晶のフラットテレビを、天井に固定するためのものです。
70V 型以上、79kg 以上のフラットテレビの吊り下げには絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、フラットテレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



天井吊下金具を組み立てたり、天井に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、天井の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



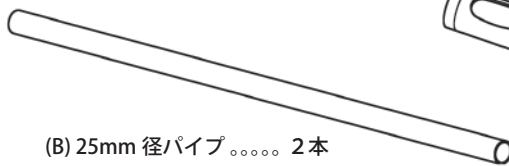
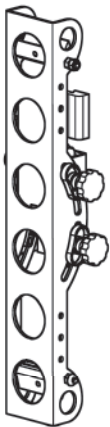
ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の障害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

2. 部品一覧表

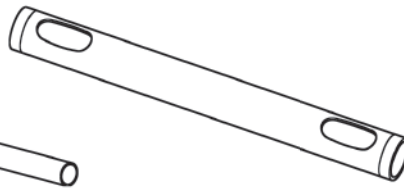
梱包を開梱し、組み立てる前に次のA図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。

A 図

(A) 回転軸アセンブリー…… 1コ



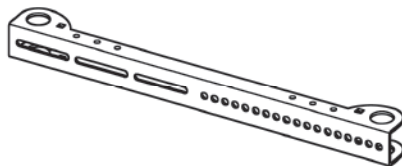
(B) 25mm 径パイプ…… 2本



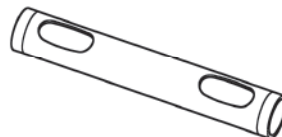
(C) 長尺パイプ…… 1本



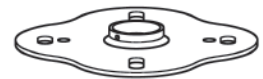
(D) カップラー…… 1コ



(E) モニターブラケット…… 2コ



(F) 短尺パイプ…… 1本



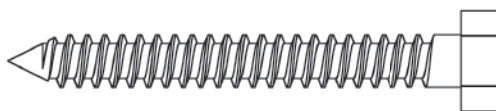
(G) 天井取り付け板金具…… 1コ

B 図

(I) クイック結合金具 …… 1コ



(K) 天井取り付けねじ …… 2コ



(H) ワニ口締付部品 …… 4コ

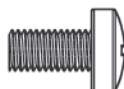
(J) 天井取り付けワッシャー …… 2コ



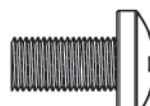
(L) M4 x 12 ネジ ……4コ



(M) M5 x 12 ネジ ……4コ



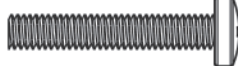
(N) M6 x 12 ネジ ……4コ



(O) M8 x 16 ネジ ……4コ



(P) M4 x 30 ネジ ……4コ



(Q) M5 x 30 ネジ ……4コ



(R) M6 x 35 ネジ ……4コ



(S) M8 x 40 ネジ ……4コ

(V) M6 ロックワッシャー ……4コ



(T) M4 ロックワッシャー …… 4コ



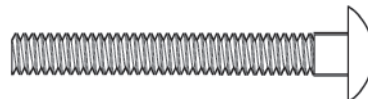
(U) M5 ロックワッシャー ……4コ



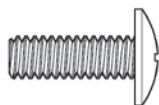
(W) M8 ロックワッシャー ……4コ



(X) 1/4-20 インチナット …… 4コ



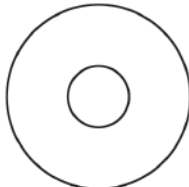
(Y) 1/4-20x2.0 インチネジ …… 4コ



(Z) 安全保護ボルト …… 1コ



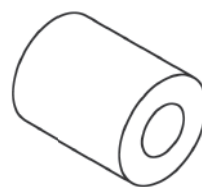
(AA) M4/M5 ワッシャー …… 8コ



(BB) M6/M8 ワッシャー ……4コ



(CC) M4/M5 スペーサー ……4コ



(DD) M6/M8 スペーサー ……4コ



(DD) ワイヤータイクリップ …… 5コ



(EE) 10-24x0.25 インチセットネジ …… 1コ



(FF) 1/4-20x0.25 インチセットネジ …… 4コ



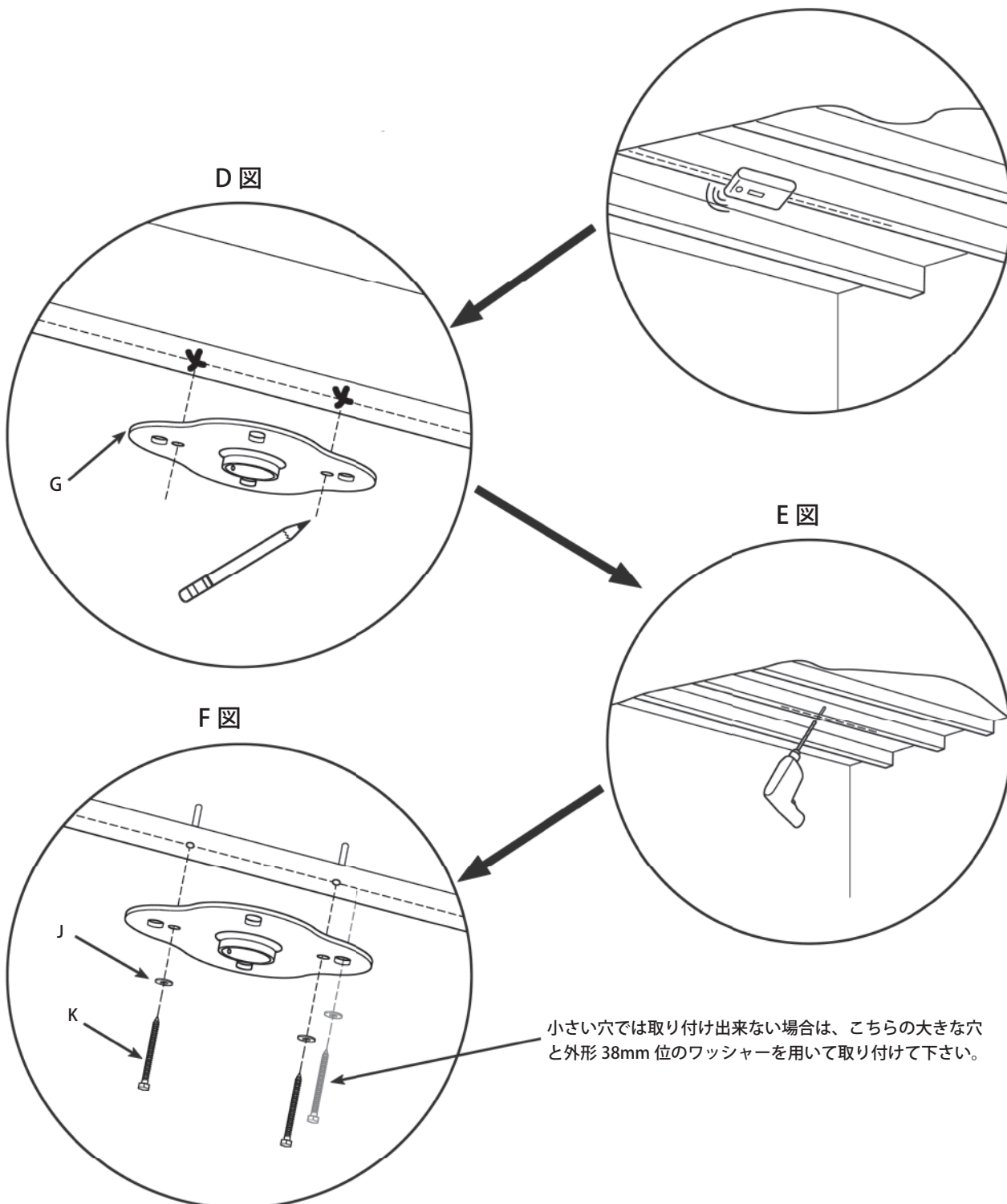
(GG) 六角レンチ …… 3種類

3 組み立てかた

1 天井に天井取り付け金具を固定する

- (1) C 図のように高感度の柱位置探知センサーを使って、天井の梁の位置を見つけます。
- (2) 天井取り付け金具 (G) を型紙代わりにして、先程見つけた梁の真下に、取り付けネジの位置に印を付けます。(D 図)
- (3) 印を付けた位置に、直径 5.5mm で深さ 60mm 位の下穴をドリルで開けます (E 図)
- (4) F 図のように、天井取り付け金具 (G) を天井取り付けネジ (K) と天井取り付けワッシャー (J) を使って天井の梁に固定します。

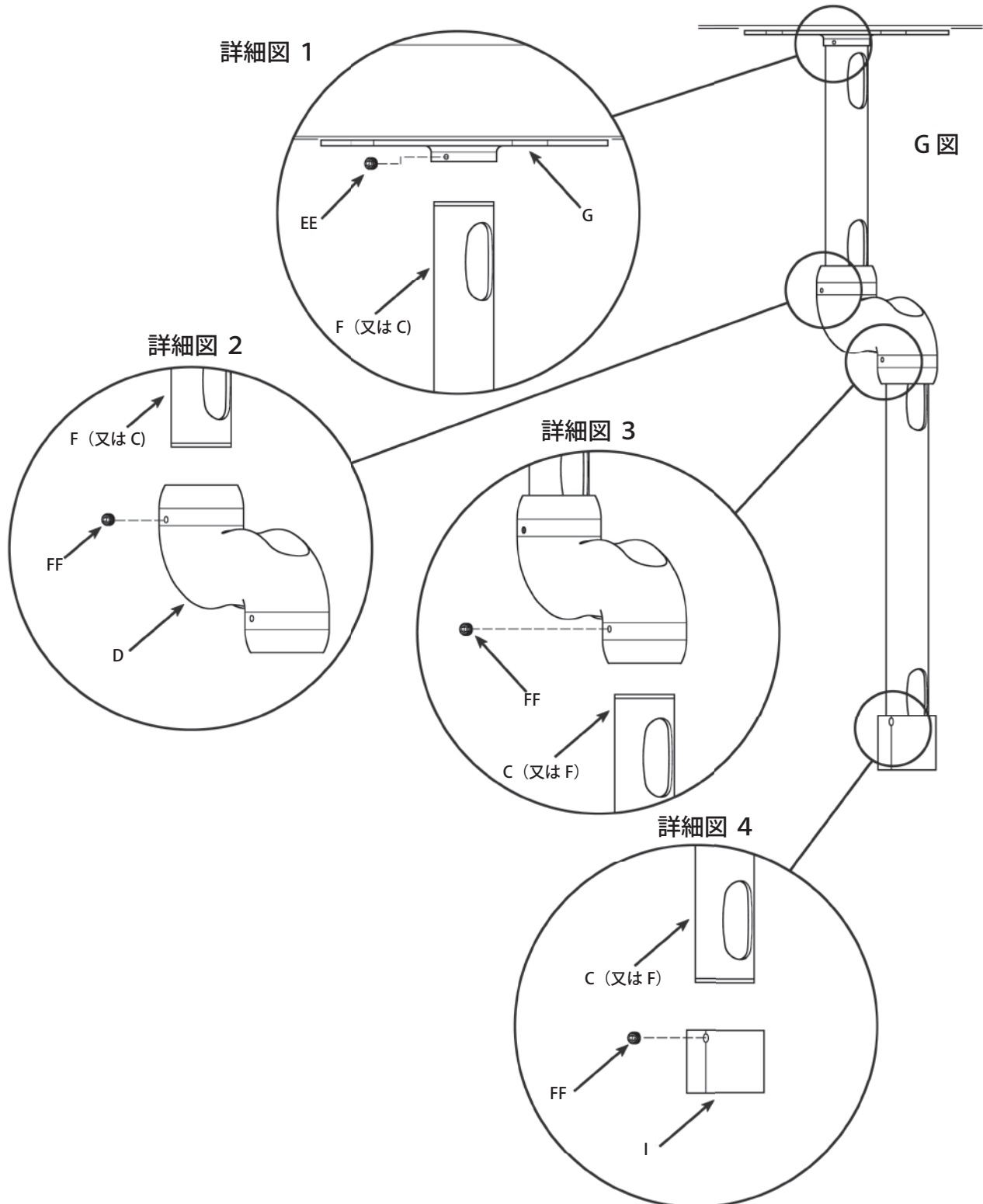
注意：出来れば、天井取り付け金具に開いている小さい方の穴を使って固定して下さい。
もし必要があれば、小さな丸穴と、スロット上の穴とを組み合わせる固定してもいいです。
スロット状の穴を使用する場合は、外形 38mm 位で、内径 8mm のワッシャーが必要です。 C 図



2 天井に吊り下げ用のパイプを取り付ける

短尺パイプ (F) と、長尺パイプ (C) は、いずれも天井側に取り付け可能ですが、ここでは短尺パイプを天井側に取り付けた場合を想定し説明します。取り付け場所の周囲の状況から、いずれを天井側にするのか決めて下さい。

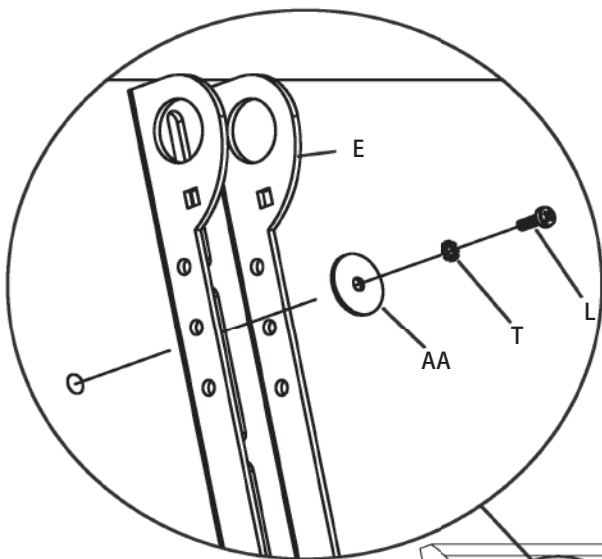
- (1) G 図の詳細図 1 のように、天井取り付け金具 (G) に短尺パイプ (F) を時計方向に廻して、完全にねじ込みます。
次に、落下防止用の 10-24x0.25 インチのセットネジ (EE) を、天井取り付け金具の横穴に六角レンチ (GG) で一杯にねじ込みます。
- (2) カップラー (D) を、詳細図 2 のように、短尺パイプ (F) の下端に完全にねじ込みます。落下防止用の 1/4-20x0.25 セットネジ (FF) をカップラー側面のねじ穴に六角レンチで一杯にねじ込みます。
L 字型のカップラーの向きは、フラットテレビの背面の方向に向けて曲げるように取り付けるのが標準です。
- (3) 長尺パイプ (C) を、詳細図 3 のように、カップラー (D) の下端に完全にねじ込みます。落下防止用の 1/4-20x0.25 セットネジ (FF) をカップラー側面のねじ穴に六角レンチで一杯にねじ込みます。
- (4) クイック結合金具 (I) を、詳細図 4 のように、長尺パイプ (C) の下端に完全にねじ込みます。この時、クイック結合金具の台形状をしたテーパ部分は、フラットテレビを吊り下げる向きになるように、ねじ込み具合の微調整して合わせて下さい。落下防止用の 1/4-20x0.25 セットネジ (FF) をアセンブリー取り付け金具側面のねじ穴に六角レンチで一杯にねじ込みます。



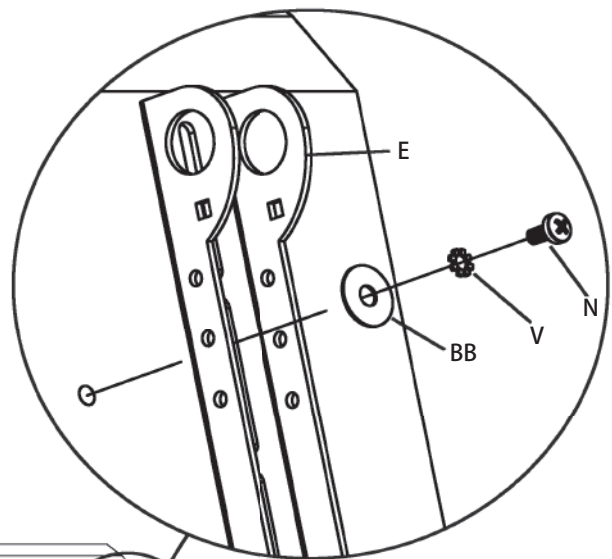
3 背面が平坦なフラットテレビへのブラケット取り付け --- 背面が湾曲している場合は4項へ進んで下さい
 フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
 フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けるモニターブラケット (E) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
 M4 ネジ (L)、M5 ネジ (M)、M6 ネジ (N)、M8 ネジ (O) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
 もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (3) モニターブラケット (E) をフラットテレビの後側で、テレビの上下の中央部に垂直に置き、且つ2つのブラケットが左右水平となるように配置します。
- (4) 先に調べたネジの径により、H 図、I 図、J 図、K 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (T)、(U)、(V)、(W) と、M4/M5 ワッシャー (AA) 又は M6/M8 ワッシャー (BB) を使ってフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

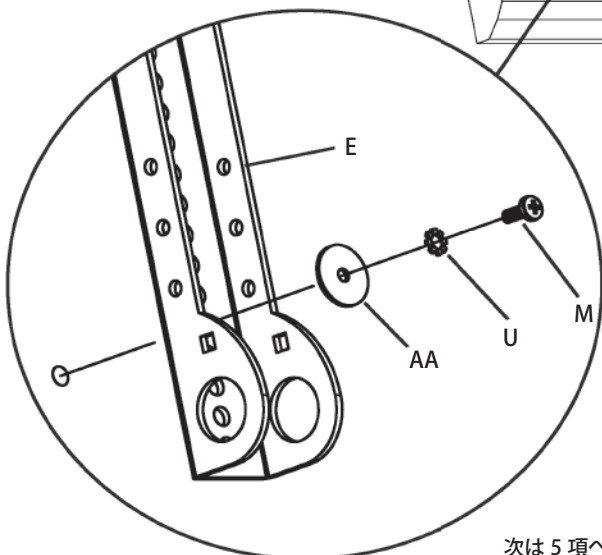
H 図 ---M4 の場合



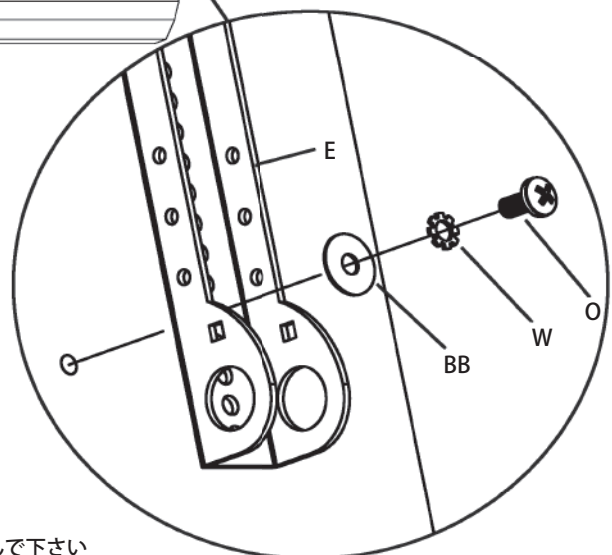
J 図 ---M6 の場合



I 図 ---M5 の場合



K 図 ---M8 の場合



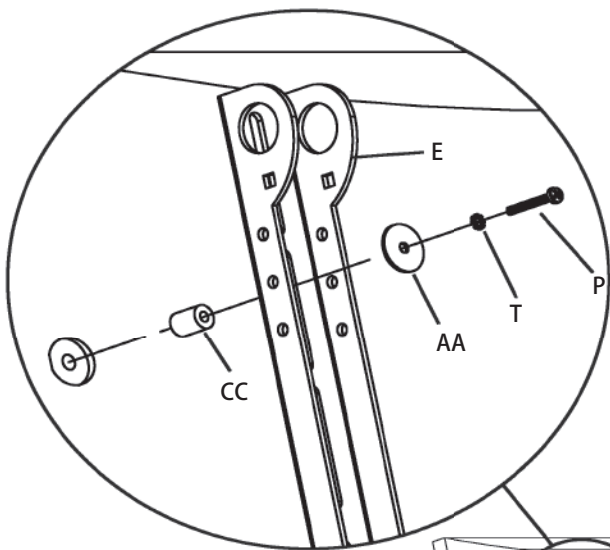
次は 5 項へ進んで下さい

4 背面が曲線状、又は取付用ネジ部分にくぼみのあるフラットテレビへのブラケット取付方法

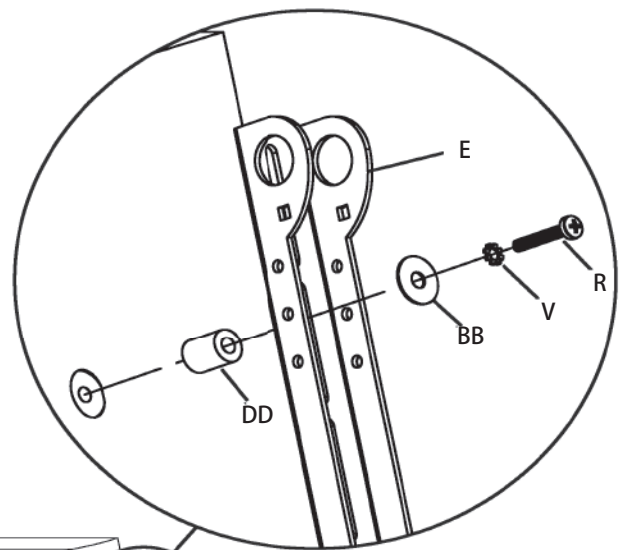
フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けるモニターブラケット (E) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (P)、M5 ネジ (Q)、M6 ネジ (R)、M8 ネジ (S) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (3) モニターブラケット (E) をフラットテレビの後側で、テレビの上下の中央部に垂直に置き、且つ2つのブラケットが左右水平となるように配置します。
- (4) 先に調べたネジの径により、L 図、M 図、N 図、O 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (T)、(U)、(V)、(W) と、M4/M5 ワッシャー (AA) 又は M6/M8 ワッシャー (BB)、及び M4/M5 スパースー (CC) 又は M6/M8 スパースー (DD) を使ってフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

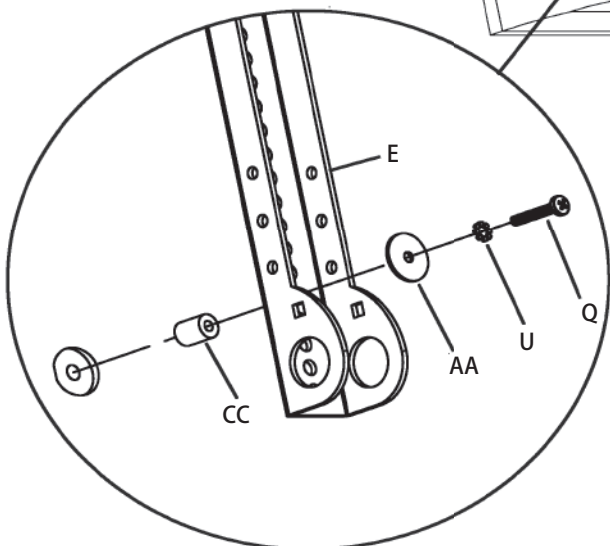
L 図 ---M4 の場合



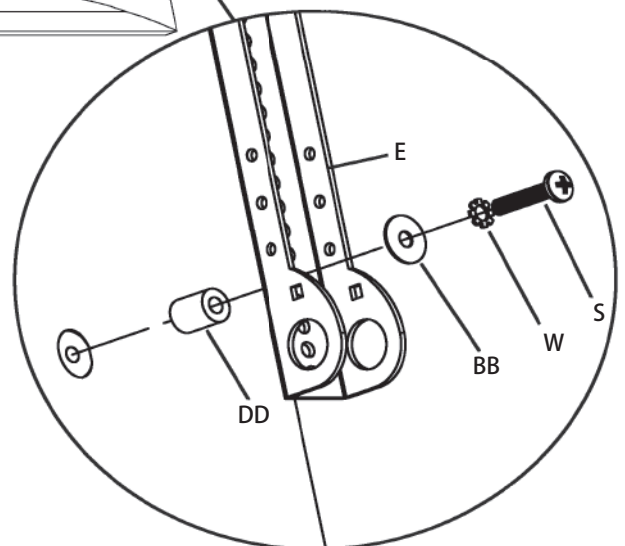
N 図 ---M6 の場合



M 図 ---M5 の場合

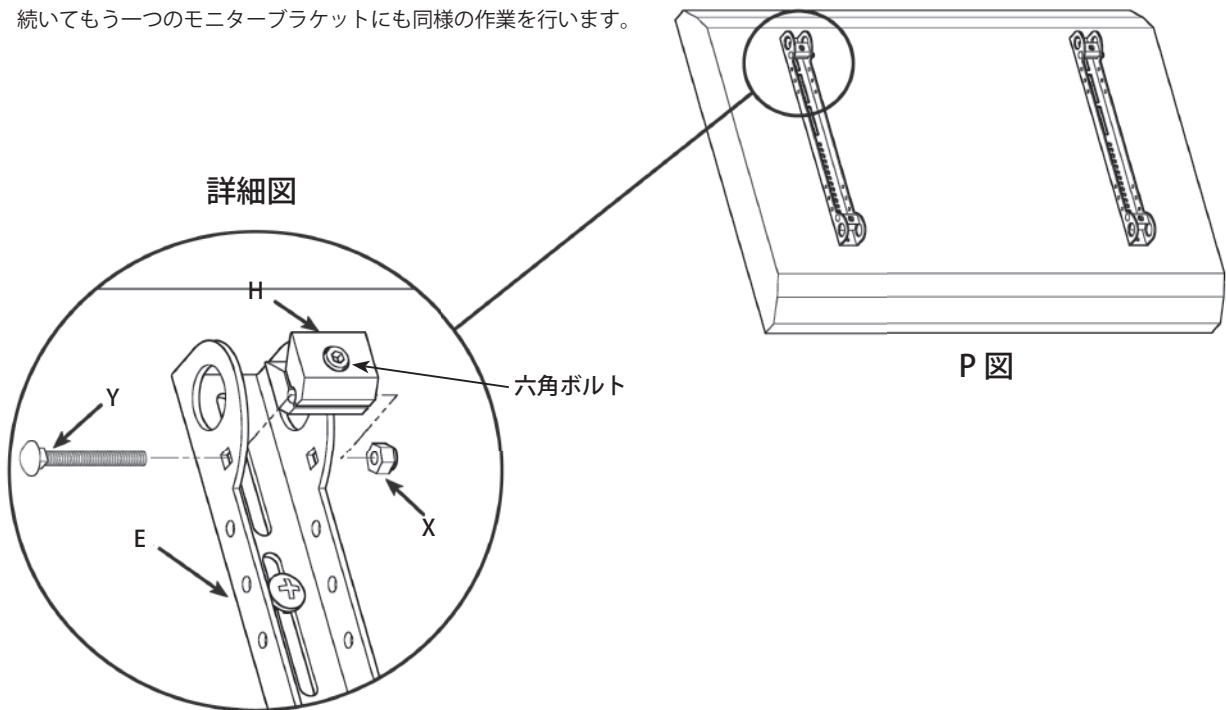


O 図 ---M8 の場合



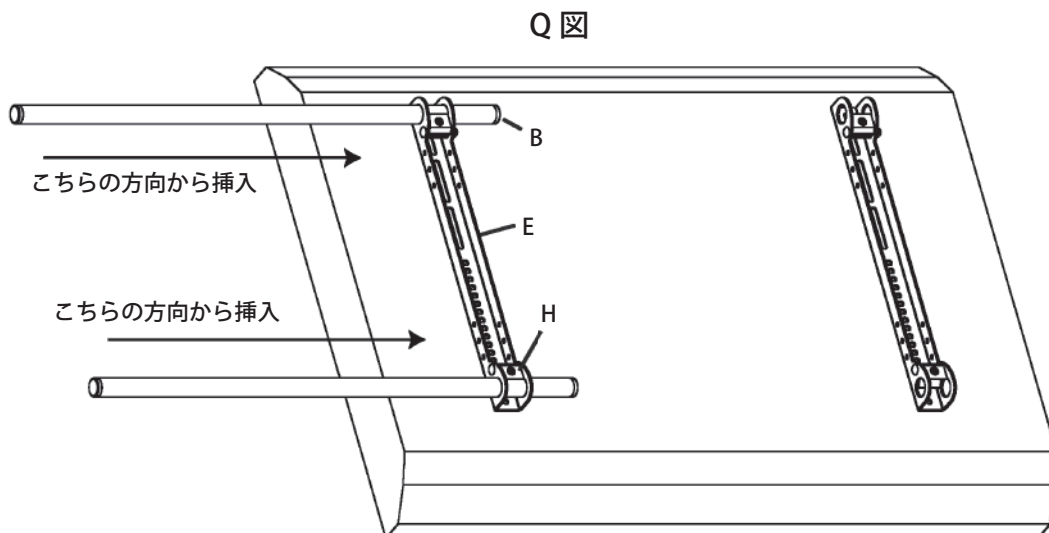
5 ワニ口締付部品のブラケットへの取り付け

- (1) ワニ口締付部品 (H) のワニ口形状を 25mm 径の丸穴の方向に向け、更にそこに埋め込んであるボルトをテレビと反対側（手前側）を向くようにして、P 図の詳細図のように、モニターブラケット (E) の二つの栈の間に置きます。
- (2) 1/4-20x2.0 インチねじ (Y) を、詳細図のようにモニターブラケット (E) の横面に開いている角形の穴から、ワニ口締付部品 (H) の穴を貫通させて、モニターブラケットの反対側の側面の穴に通します。
- (3) 次に、1/4-20 インチナット (X) で上記の 1/4-20x2.0 インチねじ (Y) を締め付けます。この 1/4-20 ナットの締め付けは、ワニ口締付部品 (H) が 1/4-20x2.0 インチねじ (Y) の周りで自由に動く程度とし、締め付け過ぎないで下さい
- (4) 同様の作業をモニターブラケットの下側の穴についても組み立てて、続いてもう一つのモニターブラケットにも同様の作業を行います。



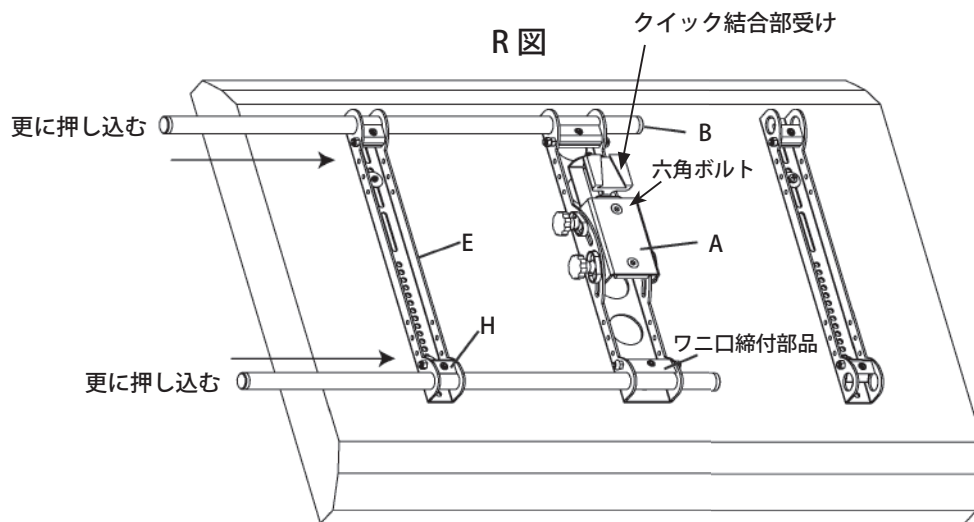
6 回転軸アセンブリのフラットテレビへの取り付け --- その1

- (1) まず Q 図の様に、25mm 径パイプ (B) をモニターブラケット (E) の上側の 25mm 穴の方向に向けて配置します。
この時、5 項で組み立てた締め付け部品アセンブリのワニ口形状した部分は、25mm 穴の方向になるようにして下さい。
- (2) 25mm 径パイプをモニターブラケット (E) の上側の 25mm 穴から押し込み、ワニ口締付部品アセンブリのワニ口形状の間に挿入して下さい。この組み立ての状況は、丁度 Q 図の様になります。
- (3) 次に、同じモニターブラケット (E) の下側の穴についても、25mm 径パイプを上記と同じ様に挿入します。



6 回転軸アセンブリーのフラットテレビへの取り付け --- その2

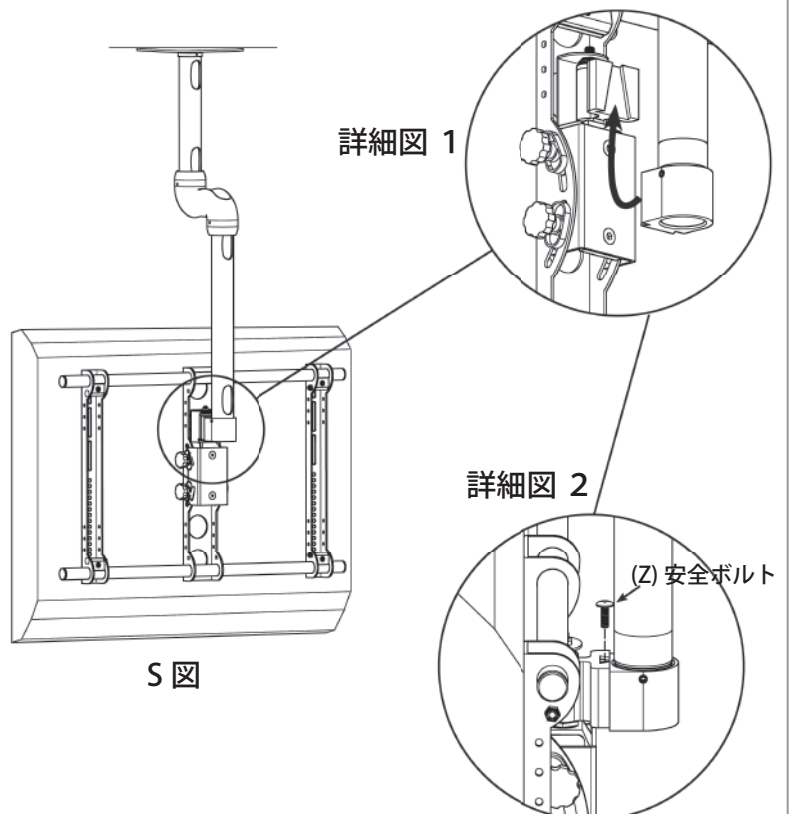
- (4) 回転軸アセンブリー (A) を R 図に示した様に、六角ボルトをテレビと反対側、即ち手前に向け、更にクイック結合部受けが上側となるように配置します。
- (5) 前の (2) 項で挿入した上下 2 本の 25mm 径パイプ (c) を更に挿入して回転軸アセンブリー (A) の 25mm 穴に通します。
- (6) この時、回転軸アセンブリー (A) の両端に付いているワニ口形状した部分が、各々 25mm の丸穴の方向に向くようにして下さい。
- (7) 25mm 径パイプを更に押し込んで右側のモニターブラケット (E) の 25mm 丸穴にも貫通させます。
- (8) 二本の 25mm 径パイプが、全ての 25mm 穴に貫通したら、各ブラケットや回転軸アセンブリーのワニ口形状した部分が、正しく 25mm 径パイプの方向に向いている事を再確認して下さい。
- (9) 二本の 25mm 径パイプが、左右のモニターブラケット (E) から等しく出っ張る様に調整してから、このモニターブラケットに取り付けた合計 4 コのワニ口締付部品 (H) の各ボルトを六角レンチ (GG) でしっかりと締め付けて下さい。
- (10) 次に、回転軸アセンブリー (A) を 25mm 径パイプの上で、二つのモニターブラケットの中間点にスライドさせた上で、回転軸アセンブリー上下二箇所ワニ口形状した締め付け部品の各ボルトを六角レンチでしっかりと締め付けて下さい。
- (11) 上記の、ワニ口形状した締め付け部品の合計 6 ヶ所のボルトの固定は、安全上大変重要なので、しっかりと確実に締め付けて下さい。なお、4 ヶ所の 1/4-20 インチナット (X) と 1/4-20x2.0 インチねじ (Y) も緩んでいたら締め付けて下さい。



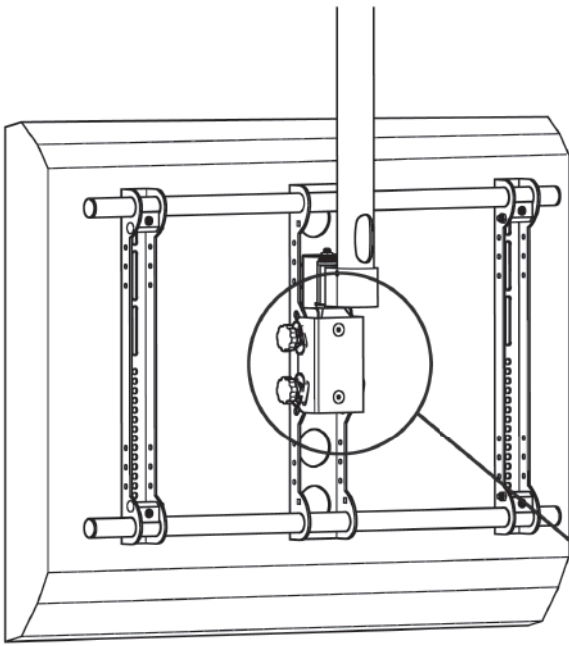
7 フラットテレビの吊り下げ方法

- 注意：**フラットテレビの取り付けは、2人以上で行って下さい。テレビが落下してけがをしたり、テレビが破損する原因となることがあります。

- (1) フラットテレビを二人で持ち上げて、詳細図 1 のように、その背面に取り付けた回転軸アセンブリー (A) の上部クイック結合部受けを、天井から吊り下げたパイプの先端に取り付けたクイック結合金具 (I) に上の方から静かにスライドさせて、2つのクイック結合部を合体させます。2つのV字形をしたテーパ部分が、回転軸アセンブリーをクイック結合金具しっかりと固定して、フラットテレビの吊り下げが完了です。
- (2) 次に安全性確保の為に、詳細図 2 のように、脱着防止用の安全保護ボルト (Z) をクイック結合部の上からいっばいにねじ込みます。この安全ボルトは、地震等で激しい上下振動が発生した場合に、フラットテレビが落下しないよう防止します。



8 水平及びティルトの調整

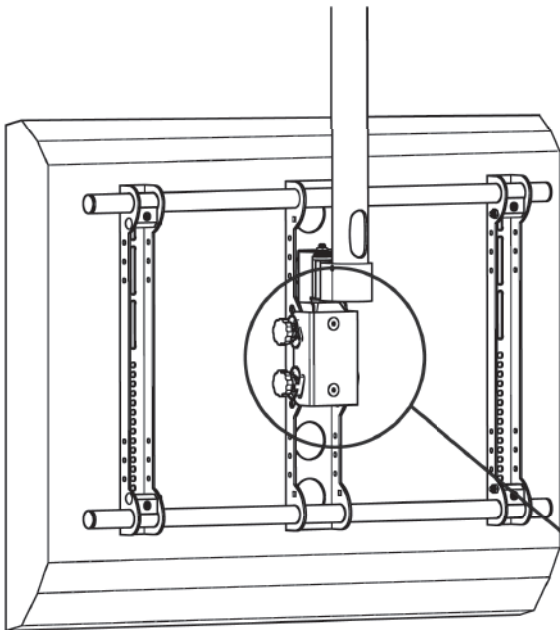
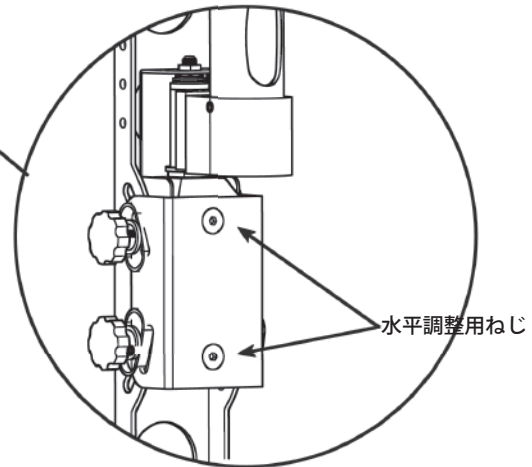


T 図

水平調整

- (1) フラットテレビが、天井から吊り下がっているクイック結合金具にしっかりと取り付けられ、更に安全保護ボルトが確実にねじ込まれている事を再確認した上で、水平調整に取りかかります。
- (2) T 図の詳細図のように、回転軸アセンブリー (A) の後ろにある2つの六角ボルトを少しだけ緩めます。これら2つの六角ボルトが緩むと、 $\pm 6^\circ$ の水平調整が出来ます。水平調整が完了すれば、再びこれら2つの六角ボルトをしっかりと締め付けて下さい。

詳細図

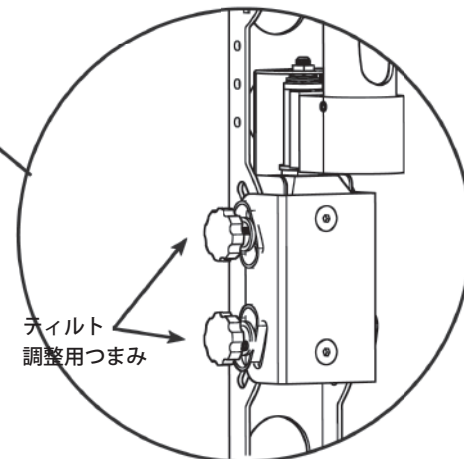


U 図

ティルト調整

- (3) 視野角調整 (ティルト調整) は、U 図の詳細図中程のテンションつまみを締め付けたり緩めたりしながら、ご希望の視野角となる様に調整します。

詳細図



9 首振りの調整

詳細図 1

安全ブラケットを上方向に引き抜く

安全ブラケット

メイン保持ナット

詳細図 2

メイン保持ナット

安全ブラケットを工具にして調整

V 図

注意

安全金具は、ご使用中にメイン保持ナットが緩み、テレビの脱落を防ぐための金具です。安全金具を有効にするためには、右図のように安全金具の六角の穴にメイン保持ナットがきっちりとはまって固定されている必要があります。もし、メイン保持ナットの角度により安全金具の六角の穴にうまくはまらないときは、適切なテンションの得られる範囲で微調整し、必ずメイン保持ナットの固定を行ってください。このとき、メイン保持ナットは1/4回転以内で調整してください。なおテンション調整しない時も、安全ブラケットがX図のように正しい位置に取り付いている事を確認して下さい。

(1) 首振りの調整は、V図の詳細図1に示すメイン保持ナットを緩めたり締め付けたりしながら、フラットテレビがご希望の方向に向ける時のテンションが調整できます。

(2) その方法は、フラットテレビの視野角を一度前面に倒し、詳細図1に示す安全ブラケットを取り去ります。詳細図2に示すように、この安全ブラケットの六角形の穴にメイン保持ナットを挟み込んで、首振りのテンション調整をします。テンション調整が完了すれば、メイン保持ナットの六角形の面がフラットテレビと平行となるよう微調整した後、このナットの上側に安全ブラケットを最初の状態と同じように被せて、このナットが緩むのを防止します。

注意

安全金具の上部に開いている六角形の穴は、下図の様にメイン保持ナットの周囲に沿ってぴったりと被さってなければなりません。メイン保持ナットを緩め過ぎてたりしてこのナットが脱落すると、テレビが壁面から落下し、怪我や財産損傷の恐れが発生します。

安全ブラケットを正しく装着した状態の図

ネジ山を切ったシャフト

安全ブラケット

メイン保持ナット

ネジ山の切ったシャフトのフロック

10 ケーブル類の整理

(1) 先ず、各種ケーブル類、電源コード、アンテナケーブル等の線材は、ゆるみやねじれを取り去って下さい。フラットテレビを動かした時、これらの線材やテレビの内部コネクタに無理な力が加わるのを未然に避けます。

(2) W図に示すように、ケーブル類は、モニターブラケット等に沿わせてから、短尺や長尺パイプの側面に開いている開口部からパイプの中に入れて、天井まで引き回せば美しく整理できます。又、ケーブル類は、モニターブラケットの側面の穴や、25mm棒等にワイヤータイクリップ (DD) を使って束線すればきれいに収めることが出来ます。

(3) 以上で組み立ては完了です。

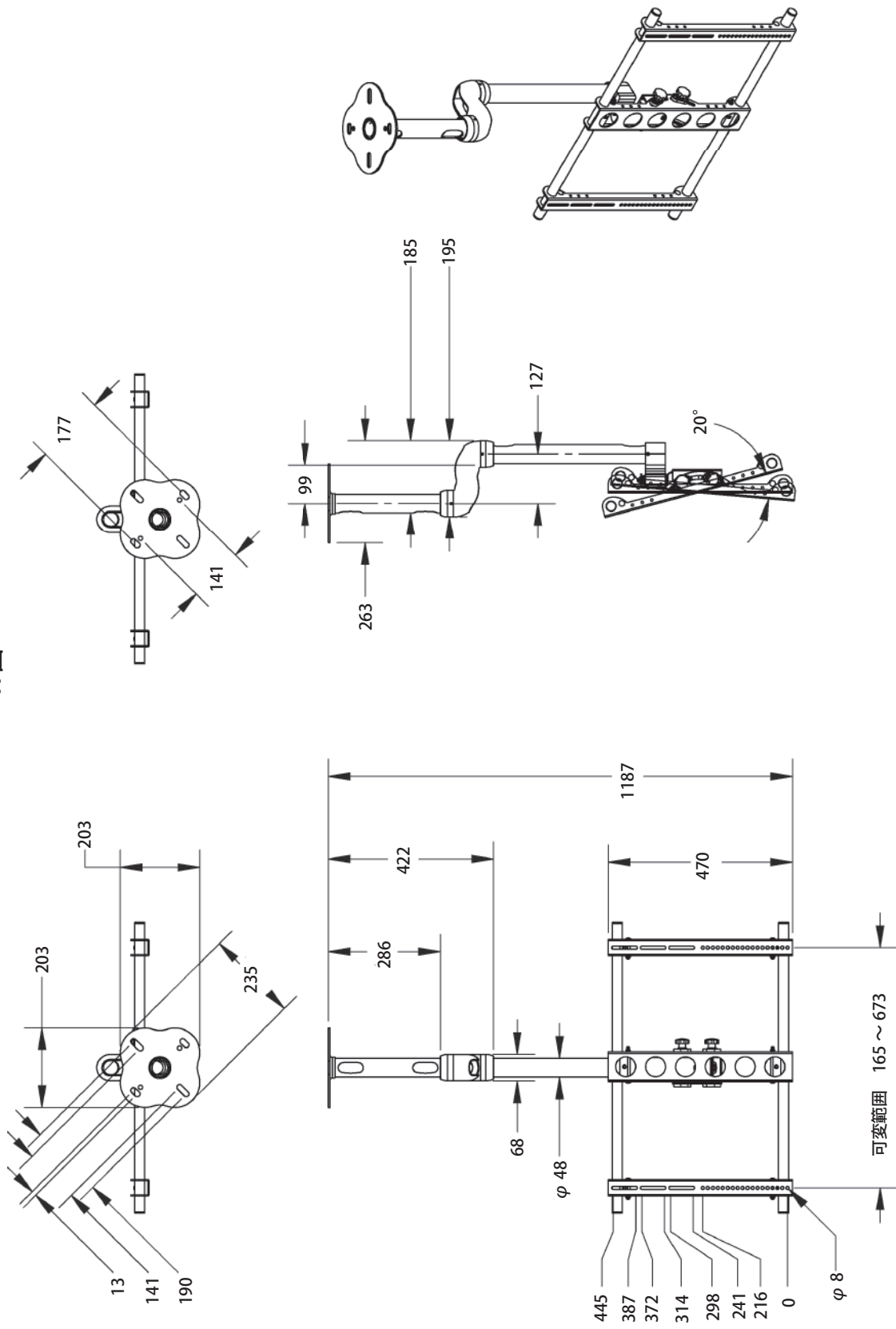
W 図

ケーブル類を図のように這わせる

ワイヤータイクリップ DD

4 外観図

× 図



単位：mm
尺度：任意

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
 〒 559-0031 大阪市住之江区南港東 1 丁目 2-16
 ネットワークジャパン株式会社 TEL: 06-6612-2008 FAX: 06-6612-2050
<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com